

施策番号	0801		
施策名	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援		
概要	中小企業の経営の安定、向上を図り、地域の経済力を高めるため、中小企業への金融支援を行うとともに、産業支援機関等による経営支援や技術・研究開発支援、人材育成など、企業ニーズに即した支援事業を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・地域企業イノベーション推進室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市産業戦略ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	企業課題対応済み件数（件）	b	a	160	174	153	113.7%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	b	b	65 10.3%	251 39.7%	207 32.7%	73 11.5%	37 5.8%	633	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	A	令和2	A	施策の目的が十分に達成されている
重み付け	☒ 客観指標 ☐ 市民の実感	当該施策においては、企業ニーズに即した支援が重要であるため、企業課題の解決状況に係る客観指標を重視する。				

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1	京都経済センターオープンイノベーションの推進	23,927	24,936	かなり良い	産業観光局
2	地域企業応援プロジェクト（中小企業対策）	37,750	154,089	普通	産業観光局
3	ベンチャー型事業承継支援	9,613	9,613	かなり良い	産業観光局
4	京都スタートアップ・エコシステム推進プロジェクト	0	45,090	－	産業観光局
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・未来の京都を担う有望な中小・ベンチャー企業等の発掘から育成までの一貫したハンズオン（企業と伴走し、課題解決に向けた様々な支援を実施すること）による支援策等を展開する。
- ・新たなイノベーションを生み出す中小・ベンチャー企業の新事業創出を促進するため、ビジネスプランのブラッシュアップ（磨き上げ）や資金調達、魅力ある新商品・新サービス等の販路開拓支援等、金融、経営、技術・研究開発、事業化、海外展開など総合的な支援策を展開する。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により「新しい生活スタイル」への変革が求められる中、A I、I o T等を活用し、中小企業等の生産性向上を支援することなどにより、地域企業の持続的発展を推進する。

施策名	0801	多様で活力ある中小・ベンチャー企業の育成と発展支援					
指標名	企業課題対応済み件数（件）						
担当課	地域企業イノベーション推進室		連絡先	2 2 2 - 3 3 2 9			
1 指標の説明 経営者の課題解決を図る中小企業パワーアッププロジェクトにおいて、経営課題を発掘し、継続的なフォローを行うパワーアップコーディネータが訪問し、企業の課題に対して対応した件数							
2 指標の意味 支援企業（訪問企業）の課題解決に向けた取組状況を示す指標			3 算出方法・出典等 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値 数値 根拠 達成度			
数値	160	174	14件増	153	平成28～30年度の実績件数の平均	113.7%	
	全国順位	中長期目標				備考 平成28年：174件 平成29年：124件 平成30年：160件	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-			-			
5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			6 基準説明 当該指標については、経済状況によって課題発生数が増減するなど、外的要因によるところが比較的高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		7 評価結果		
					平成30	令和元	令和2
					b	a	a